

平成23年度第2回 雲ヶ畑地域における公共交通のあり方検討会議 議事録

○ 日 時:平成24年1月31日(火) 15:00~16:00

○ 場 所:京都市役所 本庁舎1階 F会議室

○ 出席者:別紙の通り

●開会挨拶

(堀池室長)

- 3月末に京都バスが雲ヶ畑地域から撤退するという事態を受け、これまで地域の皆様、関係事業者との協議を続けてきた。その結果、一定の整理ができ、地域から公共交通がなくなるという事態が避けられた。
- 今後は新しい公共交通に愛着をもって地域の皆様にご利用いただきたい。また、京都市としても新しい公共交通を守り、発展するようバックアップしたいと考えている。
- 本日の会議は4月1日からの運行開始に向けて、また、国からの支援を受けるためにも重要である。活発なご議論をいただきたい。

●委員紹介

●報 告

1 雲ヶ畑地域における公共交通のあり方検討会議設置要綱について

2 北区雲ヶ畑地域における新しい生活交通の導入について

事務局より資料に基づき報告がなされ、以下の質疑応答が行われた。

(雲ヶ畑:波多野会長)

- これまで運行してもらっていた京都バスが撤退となり、地域の足を確保する地元の熱意が強かった。運賃収入も含め地域が負担する部分は地域の熱意によるもののご理解いただきたい。

予備車両、応援車両について彌榮自動車秦課長より説明がなされた。

(京都市交通局:一原係長)

- 運賃について500円、300円に分かれるということであるが運賃箱は設置するのか。

(事務局:岩村係長)

- 何らかの形で運賃箱を設置する予定である。運転手には両替をお願いすることになる。

(産業観光局:中村係長)

- (積み残しがあり、無線でタクシーを呼んだ場合も) タクシーの場合の運賃も同じか。

(事務局:岩村係長)

- 運賃は同じである。

(文化市民局:西原アドバイザー)

- 地域の活性化に向けたイベント等があった場合、利用者が増えることが予測される。どのような対応を検討しているか。

(彌榮自動車:秦課長)

- 事前に利用者が多いことが想定される場合は、常用車と予備車を活用して極力積み残しがないように対応したいと考えている。

(事務局:吉田部長)

- 雲ヶ畑地域はキャンプ場とアーチェリー場がある関係で利用者が多い場合がある。その場合は路線バスではなく、貸切バスで対応している。交通事業者、地域の皆様と調整して混乱がないよう対応したい。

(事務局:堀池室長)

- 「新しい生活交通」という名称であるが、今後新しい名称はつけるのか。
- 雲ヶ畑の奥にある料理屋は予約が必要なのか。懇親会等で「新しい生活交通」を利用して地域のお店や、地元の素晴らしい自然を楽しみたい。

(雲ヶ畑:波多野会長)

- 飛び入りのお客さんも対応しているが、基本的には予約が多い。

(事務局:吉田部長)

- 「新しい生活交通」の名称については、事務局としては地域の皆様に愛着を持っていただくという趣旨から、地域の皆様のご意見を伺いたい。また、PRのためのマグネット等も作成していきたい。

(雲ヶ畑:波多野会長)

- 「新しい生活交通」の名称については、25日の会議で投げかけがあり、色々と意見が出てきているところであり、検討中である。

(大阪産業大学:波床教授)

- 「新しい生活交通」はこれまでと車両が変わるため、近づいてきたことが分からない。交通事業者には早発することなく、バス停に時間通り付けば確実に乗れるという点を徹底していただきたい。

(近畿運輸局:酒井専門官)

- フリー乗降区間では、現在、メロディを流してバスが運行している。地元から音がうるさいとクレームが生じる地区もあると聞くが大丈夫か。

(雲ヶ畑:波多野会長)

- 地元としては逆にバスの音が生活の合図になっている部分もあり，迷惑とは感じていない。

●議 事

(1)道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議について

事務局より資料に基づき説明がなされ，承認を求めた結果，異議なく承認された。

(2)地域内フィーダー系統確保維持計画

事務局より資料に基づき説明がなされ，以下の質疑応答が行われた。その後，事務局より承認を求めた結果，異議なく承認された。

(事務局:堀池室長)

- 平成24年度の国庫補助額は平成25年度の半分になっているが，これは平成24年度は9月までの半期分の数値が入っているという理解でよいか。

(事務局:岩村係長)

- そのとおりである。

(京都バス:清水部長)

- 運行ダイヤとして現行ダイヤが記載されているが，上堀川と北大路堀川間はある程度時間を絞る必要がある。堀川通のバス停は京都バスや市バス等と競合するため，時間調整のためにバス停付近にジャンボタクシーが停車されると困る。ダイヤは十分調整していただきたい。

(事務局:吉田部長)

- 資料に記載しているとおり，ダイヤ等は今後地域の皆様，交通事業者様とも調整させていただきます。

●閉会挨拶

(雲ヶ畑:波多野会長)

- 地域のライフラインに相当するバスがなくなるということは大変なことであった。各関係者からご協力をいただき，なんとか地域の足を確保できることとなった。代表として感謝を申し上げる。今後ともよろしくお願ひしたい。

以上